



みんなが笑顔になれるまち 国際都市おおた

区は、平成22年から「国際都市おおた」の実現を掲げ、29年には「国際都市おおた宣言」を行いました。これまでの10年間で、区と世界の結びつきは、より強まっています。コロナ禍にあっても、多様性による社会活性化、誰一人取り残さない世界の実現という国際的な流れを踏まえ、区は地域力を結集し、今後も「国際都市おおた」を推進します。

この10年間の大田区の変化

大田区における外国人人口の増加

約 **6,500人** 増加

<2010年1月1日時点>
18,770人(112か国・地域)

<2020年1月1日時点>
25,287人(129か国・地域)

出典：大田区多文化共生推進プラン、区の数字など



羽田空港から入国した外国人の増加

5倍以上



<2010年>約75万人
<2019年>約429万人

出典：法務省(出入国管理統計統計表)

羽田空港の国際線就航都市の増加

約 **3倍**



<2010年>17都市(11か国・地域)
<2020年>54都市(26か国・地域)*

* 2020年夏ダイヤの当初見込み。現在、運休・就航延期の都市があります

出典：国の資料、航空会社のダイヤ等による大田区調べ

「国際都市おおた」を実現する3つの方向性

1 多文化共生

互いの個性を認め、誰もが活躍できる
笑顔あふれるまちをつくります



国際都市おおた大使
(来～大田区大使)

地域活動への参加やおおたの魅力
発信に貢献

異文化理解のため、区内で活躍。約
10年間で延べ26か国・地域の大使
107名が活動してきました。

地域の方がコロナ終息を願って折り鶴を作っていると知り、私も参加しました。こうしたイベントで地域の皆さんとふれあひながら、地域の持つ力、美しい場所などおおたの魅力を発信していきたいです。



国際都市おおた大使
アンジェリーナさん
(シンガポール出身)

国際都市おおた協会 多言語相談窓口

日常生活で困ったときには相談を

英語、中国語、タガログ語など5か国語で対応。ことばの問題、子育て・仕事のことなど生活相談に応じます。



国際都市おおた大使
ダビデさん
(イタリア出身)

困ったときや疑問に思ったときにすぐに相談できるので便利です。区の難しい手続きも理解できて、安心しました。気軽に利用できるのも、皆さんにもおすすめです。



「テレビ通訳」用タブレット端末

日本語が分からなくても安心

10言語に対応したテレビ通訳タブレット端末を区施設25か所に配置し、窓口でのコミュニケーションをサポートしています！

2 観光

暮らしが息づく多彩な魅力ある
まちとして訪れる人を迎えます



大田区観光情報センター

「まち・ひと」をつなぐ

区の魅力を国内外へ発信し、地元密着の観光スポットを多言語で案内、「大田のお土産100選」も販売しています。

観光ガイドブックは日本語のほか、英語、中国語(繁体字・簡体字)、韓国語、タイ語をご用意しています。



国際交流員
ベサニーさん
(イギリス出身)

センターはいつ訪れても、新しい発見がいっぱい。区内観光をするなら洗足池がおすすめ！自然が多くて落ち着いた雰囲気が好きです。

3 産業

おおたが誇る匠の技が
世界の期待に応え、新しい産業をつくります



国際見本市への出展

世界におおたの技術を発信！

これまで中国、タイ、マレーシアなどの世界16か所の展示会に参加。昨年、ドイツで開かれた医療機器部品見本市では、おおたの技術に関する質問が多数寄せられました。

